



事業者：一般社団法人日本外食品流通協会

計画概要

物流コストや人件費の高騰といった課題に直面する中、冷凍食品の取扱拡大に対応したサプライチェーンの高度化に対応するため、多温度帯商品の一括配送や温度管理システムの自動化を可能とする冷凍車を導入し、持続可能で強靱な食品流通の合理化を目指す。

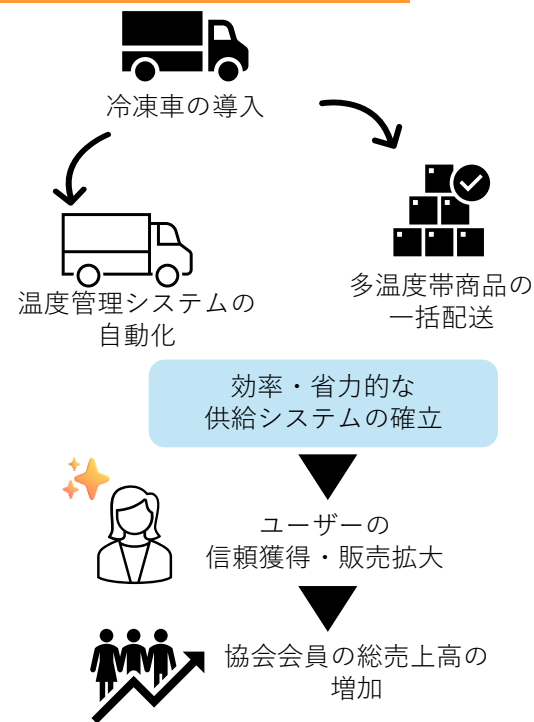
目 標

当該冷凍車を活用して効率的かつ省力的な供給システムを確立し、食品に対するユーザーの信頼度を高め販売拡大を図ることで、目標年度（令和12年度）までに協会会員の総売上高を8%増加させる。

食料システムへの寄与

適切な温度管理設備の導入により食品の品質・衛生管理が向上し、コールドチェーンを確保して安全・安心な食品を消費者に届けられるようになる。これにより消費者利益が高まり、国産食材への信頼と付加価値も向上して農林漁業の発展に寄与する。また、消費者ニーズや国内外の需要に的確に対応することで事業の維持・拡大が可能となり、サプライチェーンの安定と食料の安定供給を通じて、農林水産業や関連産業全体の利益増進に貢献する。

計画のイメージ



(2026年3月9日認定)
(2026年6月17日変更)